

研究・調査報告書

| | |
|---|---------------------|
| 報告書番号 | 担当 |
| 9 2 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名 (原題/訳) | |
| Incidence of Cardiovascular and Cerebrovascular Disease in Danish Men and Women With a Prolonged Heavy Alcohol Intake 長期間において大量飲酒をするデンマークの男女の心血管、脳血管疾患の発病率について | |
| 執筆者 | |
| Hvidtfeldt UA, Frederiksen ME, Thygesen LC, Kamper-Jorgensen M, Becker U, Gronbaek M. | |
| 掲載誌 (番号又は発行年月日) | |
| Alcohol Clin Exp Res. 2008 Nov;32(11):1920-4. Epub 2008 Aug 18. | |
| キーワード | |
| アルコール、心血管疾患、脳血管疾患、発生率 | |
| 要 旨 | |
| <p>背景： これまでいくつかの疫学調査で飲酒状況と循環器系疾患について、UカーブやJカーブの関係があることが示されてきた。しかし、大量飲酒者における影響に関する調査は多くない。そこで本研究は一般集団と比較して、大量飲酒者の心疾患や脳血管疾患の発生率が高いかどうかを調査する事を目的とした。</p> <p>方法： 本調査はコペンハーゲン内の病院において1954年から19992年の間にアルコール中毒の外来患者として通院した19,185名(男性、15,368名、女性3,817名)を対象とし、実施した。コペンハーゲンの一般集団と比較するために、心臓疾患、脳血管疾患の発生率は、性別、年齢と暦年令によって標準化された(SIR)。</p> <p>結果： 1977～2001年の間に、心血管疾患、脳血管疾患の発生は9,397件、観察された。男性と女性双方が、母集団で予想された発生率よりも統計学的に有意に高かった。心血管疾患(例えば、虚血性心疾患、男性：SIR= 1.76、95%信頼区間 1.69～ 1.83;女性：SIR = 2.44;95%信頼区間 2.19～ 2.73)、そして、脳血管疾患(例えば、出血性脳卒中、男性：SIR= 2.71;95%信頼区間 2.45～ 2.99;女性：SIR= 2.77;95%信頼区間 2.18～ 3.48)であった。</p> <p>まとめ： 本研究では多量飲酒者は心血管疾患、脳血管疾患における発生率が高くなる事を明確にした。</p> | |